

# 第74回 上海博楚簡研究会のご案内

※ 本研究会は、平成27年度JSPS科研費 26284010助成「Multi Disciplinary Approachによる新出土資料の総合的研究」（基盤研究（B））「出土資料と漢字文化研究会」との共催です。

## 『湯在啻門』 を読む

発表者：曹峰教授（中国人民大学）

李学勤主編『清華大学蔵戦国竹簡』（中西書局）の第5冊が2015年4月に出版されました。以来同書に収録された竹簡の内容は、古代中国の哲学・歴史・語学文学など、関係する分野を問わず、多くの研究者から注目を集めています。今回は同書所収の『湯在啻門』を取り上げ、研究会を行うこととなりました。

さて、その内容は商王湯と小臣伊尹の間で行われた問答であり、いかにして人と成し、邦と成し、地と成し、天と成すなのかということを中心にしています。数字を活用して主旨を述べるのは『湯在啻門』の特徴であり、例えば「五味の氣」を用いて人間の生老病死を、「四・五」を用いて成邦の道を、「九・五」を用いて成地の道を、「九・六」を用いて成天の道を解釈しています。「四」と「九」は神のことを指し、「五」と「六」は自然の原理や現象を指しています。『湯在啻門』の重点は成邦の道における美悪二種類の「徳・事・役・正・刑」にあると考えられます。これにより、本文は「氣」及び「五行」の観念について研究する上での貴重な資料と申せましょう。

第74回目を迎えた今回の研究会は、曹峰教授（中国人民大学）が担当し、最新の情報を盛り込んだ『湯在啻門』の訳注を発表いたします。つきましてはご多忙中恐れ入りますが、下記の要領で開催いたしますので、ご関心をお持ちの方々多数お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

日時：2015年7月20日（月）午後2時～午後5時

場所：日本女子大学百年館高層棟8階815会議室

- 使用言語 日本語
- 参加費 無料
- 『清華大学蔵戦国竹簡』（伍）の写真図版や釈文のコピーなどは、各自ご用意下さい。

連絡先：東京都練馬区中村南1-12-5

東京大学名誉教授 池田知久 電話：03-3926-8568